

タイムック®

TIMEC

膨張コンクリート用特殊混和剤

タイムックは、逆打ち(逆巻き)コンクリート工法における打継ぎ部を、直接法で施工して一体化させることが出来る膨張コンクリート用特殊混和剤です。

タイムックを用いると、後打ちコンクリートの膨張開始時間と膨張率を調節することにより、従来の直接法が困難としていた打継ぎ部の新・旧コンクリートを容易に一体化することができます。また、打継ぎ部を注入あるいは充填処理する工程が省略できるほか、作業能率の向上、工期の短縮、施工費用の低減等を図ることができます。

特長

1. コンクリートの膨張開始時間を適度に遅延させ、かつ所要の膨張率が得られます。
2. コンクリートの沈下を補い打継ぎ部の一体化を可能にします。
3. 打継ぎ部を一体化するとともに、水密性を改善し鉄筋コンクリート構造物の耐久性を向上させます。
4. 直接法で逆打ち(逆巻き)コンクリートの施工ができますので、作業能率の向上、工期の短縮とそれらに伴う施工費用の低減等が図れます。
5. コンクリートの基本的諸物性ならびに鉄筋の発錆には影響を及ぼしません。

用途

建築・土木構造物の各種逆打ち(逆巻き)コンクリート、および各種充填コンクリート等

種類

タイムックを使用したコンクリートの膨張開始時間および膨張率は、セメントの種類や銘柄あるいはコンクリートの配合・温度等により影響されます。このためタイムックにはこれらの諸条件に対して、適切な膨張開始時間と膨張率が得られるよう、タイムックL / L-P / S / S-P等の種類がありますので、表-1を参考にして種類を選定してください。

表-1 タイメックの種類

種類	タイムックL	タイムックS	タイムックL-P	タイムックS-P	
使用条件	セメント	普通ポルトランドセメント、フライアッシュセメントB種、高炉セメントB種			
	混和剤	リグニンスルホン酸系やポリオール系のAE減水剤	ポリカルボン酸エーテル系のAE減水剤・高性能AE減水剤		
	コンクリート温度	10℃以上15℃未満	15℃以上	10℃以上15℃未満	15℃以上

注) 上記以外のセメントや混和剤を使用する場合は、別途ご相談ください。

主成分および仕様と物性

各種タイムックは、A剤・B剤・C剤の3剤で構成されるセット商品です。セットを構成する各剤の主成分は表-2のとおりです。また、1セットの仕様およびタイムック溶液の物性を表-3に示します。

表-2 タイメックの主成分

種類	A剤(液体)	B剤(粉体)	C剤(液体)
タイムックL	メラミンスルホン酸系化合物	特殊処理アルミニウム	変性特殊アルコール
タイムックS			
タイムックL-P	ポリカルボン酸エーテル系化合物		
タイムックS-P			

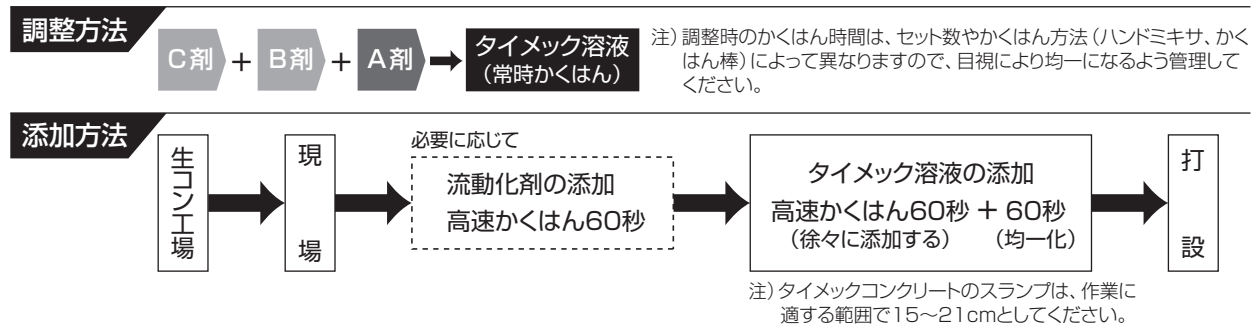
表-3 タイメックの仕様と溶液の物性

種類	1セットの仕様				溶液の物性			
	A剤	B剤	C剤	出来上り量	外観	密度(20℃)	pH	
タイムックL	20ℓ	1kg	2.5kg	23ℓ	暗褐色懸濁液	約1.07g/cm ³	約8	
タイムックS						約1.01g/cm ³	約9	

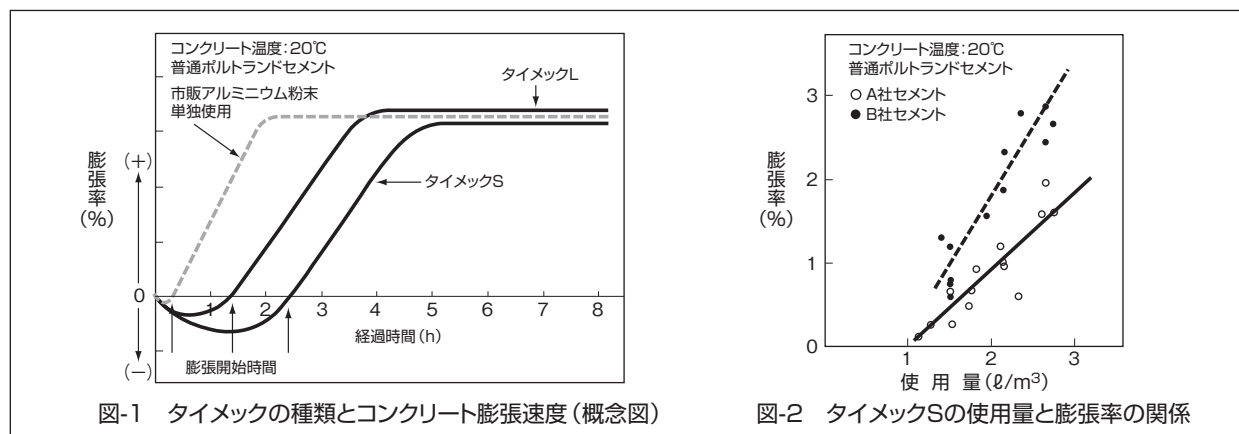
使用量

所要の膨張率(1.5%程度)が得られるタイムック溶液の標準的な使用量は、約2ℓ/m³になります。ただし、セメントの種類・銘柄、コンクリートの配合・温度などによって増減しますので、現場の諸条件を考慮した試し練りを行って決定してください。

タイムック溶液の調整方法と添加方法



試験結果例



使用および取扱上の注意事項

1. 打設箇所の型枠は、膨張圧に十分耐えるように組み立ててください。
2. タイメック溶液を誤って過剰に添加すると、膨張量が過大になりますので正確に計量してください。
3. タイメック溶液は直射日光の当たらない所で調製・保管し、かつ調製後24時間以内に使用してください。
4. タイメックB剤は、可燃性固体に準ずる取扱いをしてください。
5. タイメックC剤は、引火性液体として取扱ってください。
6. タイメックB剤とC剤は、酸化剤、火気、高温体とは接触させないでください。
7. 取り扱いに当っては、マスク、保護メガネ、ゴム手袋等の保護具を着用してください。
8. 使用および取り扱いの前に、当社の製品安全データシート(MSDS)をお読みください。
9. 廃棄する場合は、当社セールスマンにご相談ください。

荷姿

タイムック1セットの荷姿は下記の通りです。(使用量を2.0ℓ/m³とした場合、約11m³分になります。)

- A剤: 20ℓ (ポリ内装箱……1個)
- B剤: 1kg (クラフト紙包装…1個)
- C剤: 2.5kg (ポリ瓶……2個)



The Chemical Company

※本商品についてのお問い合わせは、本社混和剤営業部または最寄りの支店・営業所までご連絡ください。

BASF ポズリス株式会社

本社 東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー 21階
混和剤営業部 TEL 03-3796-9870 FAX 03-3796-9980
建材営業部 TEL 03-3796-9850 FAX 03-3796-9980

仙台支店 TEL 022-224-1631 FAX 022-224-1634 大阪支店 TEL 06-4964-7240 FAX 06-4964-7244
東京支店 TEL 03-3796-9900 FAX 03-3796-9960 福岡支店 TEL 092-481-1271 FAX 092-481-1273
名古屋支店 TEL 052-220-1113 FAX 052-220-1713

札幌営業所 TEL 0123-88-1245 FAX 0123-88-1061 横浜営業所 TEL 045-211-0485 FAX 045-211-0487
宇都宮営業所 TEL 028-621-5261 FAX 028-621-5263 静岡営業所 TEL 054-254-2514 FAX 054-254-2515
千葉営業所 TEL 043-266-6181 FAX 043-266-6183 広島営業所 TEL 082-543-2520 FAX 082-543-2505
上越営業所 TEL 025-524-1777 FAX 025-524-3852 高松営業所 TEL 087-833-0271 FAX 087-833-0218
(松本・金沢事務所) 鹿児島営業所 TEL 099-263-8740 FAX 099-263-8741

www.pozzolith.basf.co.jp

●ロゴ・マークならびに弊社の混和剤・床材・グラウト材・補修材をはじめとする各種建設材料の商品名に®マークを付記したものは、BASF社の登録商標です。

●ここに記載された事項は、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データにもとづくものでありますが、多岐にわたる条件下での実際の現場結果を確実に保証するものではありません。

●万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本商品をご使用頂く場合には、ご使用者側にて調査検討下さいませようお願い致します。

●本記載事項は、新しい知見により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

●BASFポズリス株式会社は開発・技術センターと茅ヶ崎工場及び堺製造センターでISO9001を、また開発・技術センターと茅ヶ崎工場においてISO14001を審査登録しています。

